

3. 循環型社会について（問19～23、報告書P81～90）

【結果概要】

① 担当課

- ・琵琶湖環境部 循環社会推進課 ごみゼロ支援係（(1)～(4)に関して）
- ・琵琶湖環境部 環境政策課 企画調整係（(5)に関して）

② 調査目的

県民のごみ減量に対する意識や実践行動の状況等を把握することで、第四次滋賀県廃棄物処理計画の策定や各種施策の検討に当たっての基礎資料とする。

③ 調査結果の分析・考察

- ごみに対する意識（問 19、p. 81）では、「多少意識して、ごみを少なくする配慮やリユース（繰り返し使う）・リサイクル（再び資源として利用する）を心がけている」が 59.6%で最も多く、次いで「いつも、ごみを少なくする工夫とリユース・リサイクルを実行している」が 16.8%となった。平成 19 年度調査では同様に考える人の割合がそれぞれ 55.2%、14.6%だったことと比較すると、ごみを少なくする配慮や工夫をしている人が増加していることがうかがえる。
- ごみを少なくするために心がけていること（問 20、p. 83）では、「買い物袋を持参したり（レジ袋をもらわない）、余分な包装を断るようにしている」が 84.9%で最も多く、次いで「詰め替え製品をよく使うようにしている」が 68.3%となった。とくに前者は平成 19 年度調査結果と比較して 23.8 ポイント増加しており、買い物袋の持参や過剰な包装を断る心がけの浸透がうかがえる。
- ごみを少なくするために大切だと思うこと（問 21、p. 86）では、「再び資源として利用する：リサイクル」が 40.6%で最も多く、次いで「ごみを発生させない：リデュース」が 19.4%となった。
- 循環型社会づくりを進めることについての考え（問 22、p. 88）では、「多少手間や不便さはあるが、進めるほうがよい」が 44.4%で最も多く、次いで「積極的に進めるべきである」が 36.3%となっており、全体のおよそ 8 割の人が循環型社会づくりに肯定的な考えを示しているといえる。
- 環境保全行動の実施状況（問 23、p. 90）では、『行っている』が 80.9%、『行っていない』が 18.1%となった。過去の調査結果（『行っている』と答えた人の割合：平成 20 年度 46.1%、平成 24 年度 56.7%、平成 26 年度 66.5%）と比較すると、環境保全行動を行っている人は引き続き増加傾向を示している。

④ 今後の施策への反映

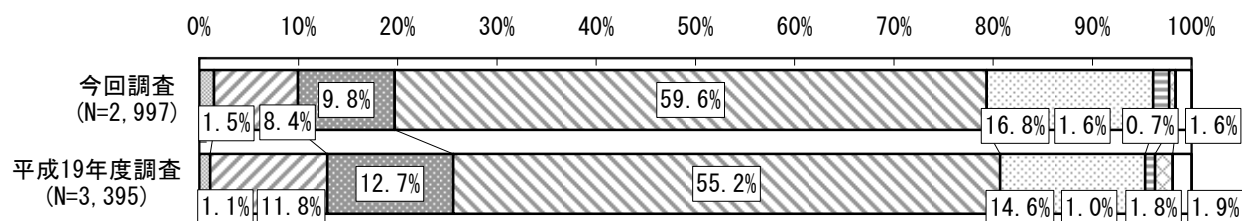
今回の調査結果から、県民のごみ減量に対する意識や実践行動の状況等を把握することができた。

調査結果については、滋賀県環境審議会で報告するとともに、第四次滋賀県廃棄物処理計画の策定や各種施策の検討に活用していく。

【結果表・グラフ】

(1) ごみに対する意識

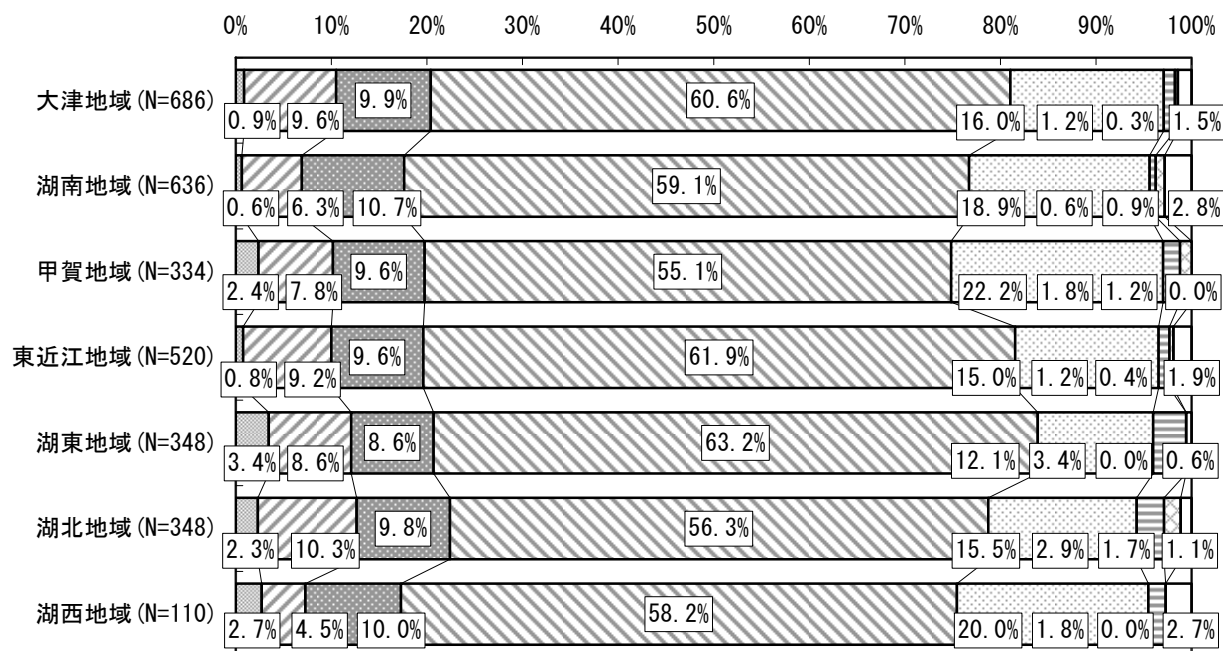
問 19 あなたは、日頃の暮らしの中で、ごみとどのように関わっていますか。あなたの考えに最も近いものを選んでください。(〇は1つだけ)



- ごみのことは考えず、多くのものを買って、多くのものを捨てている
- ごみの問題は気になるが、多くのものを買って、多くのものを捨てている
- ごみを少なくする工夫をしたいが、何をすればよいかわからない
- 多少意識して、ごみを少なくする配慮やリユース・リサイクルを心がけている
- いつも、ごみを少なくする工夫とリユース・リサイクルを実行している
- よくわからない
- その他
- 不明・無回答

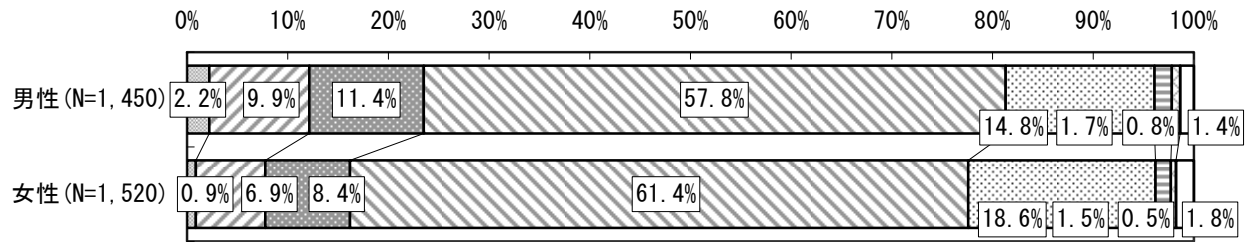
※平成19年度調査とは選択肢の文言が一部異なる

【地域別】



- ごみのことは考えず、多くのものを買って、多くのものを捨てている
- ごみの問題は気になるが、多くのものを買って、多くのものを捨てている
- ごみを少なくする工夫をしたいが、何をすればよいかわからない
- 多少意識して、ごみを少なくする配慮やリユース・リサイクルを心がけている
- いつも、ごみを少なくする工夫とリユース・リサイクルを実行している
- よくわからない
- その他
- 不明・無回答

【性別】

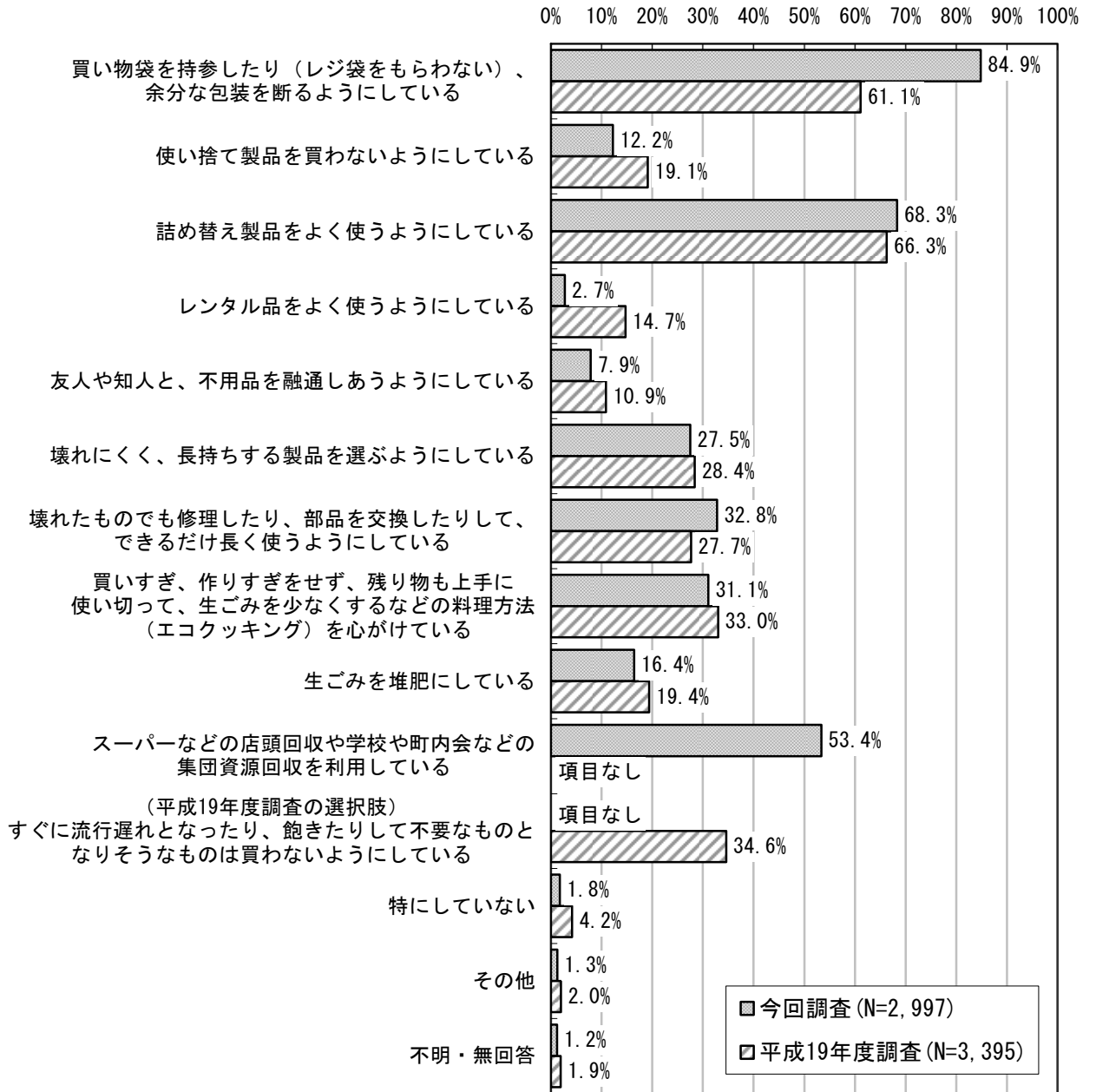


- ごみのことは考えず、多くのものを買って、多くのものを捨てている
- ごみの問題は気になるが、多くのものを買って、多くのものを捨てている
- ごみを少なくする工夫をしたいが、何をすればよいかわからない
- 多少意識して、ごみを少なくする配慮やリユース・リサイクルを心がけている
- いつも、ごみを少なくする工夫とリユース・リサイクルを実行している
- よくわからない
- その他
- 不明・無回答

(2) ごみを少なくするために心がけていること

問 20 あなたが日頃の暮らしの中で、ごみを少なくするために心がけていることは何ですか。
(○はいくつでも)

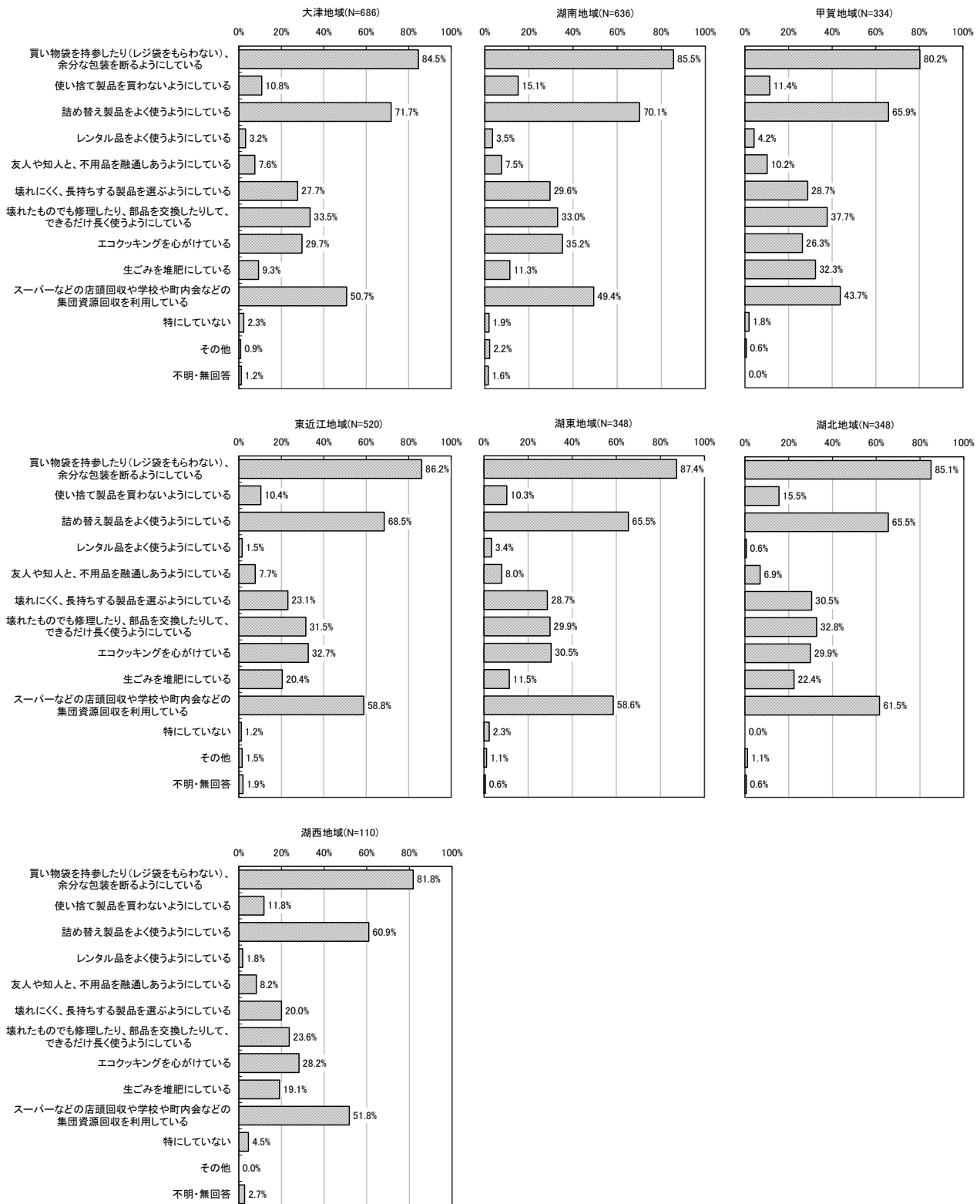
[複数回答]



※平成19年度調査とは選択肢の文言が一部異なる

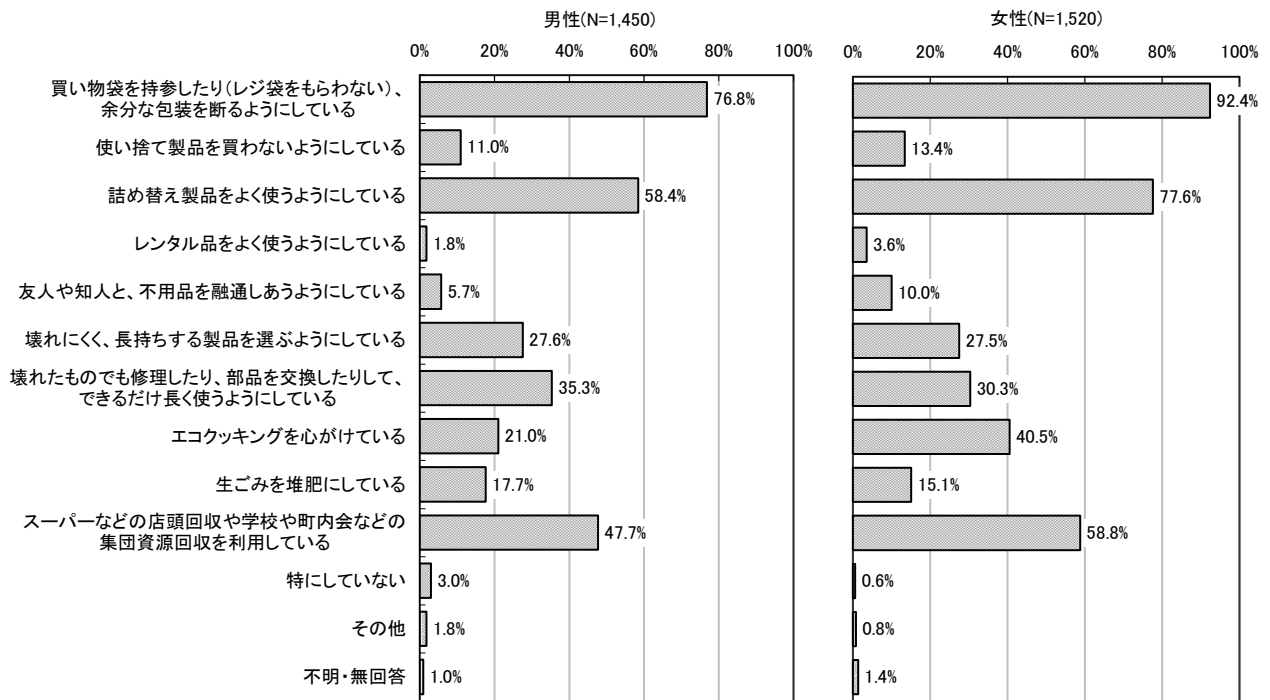
【地域別】

[複数回答]



【性別】

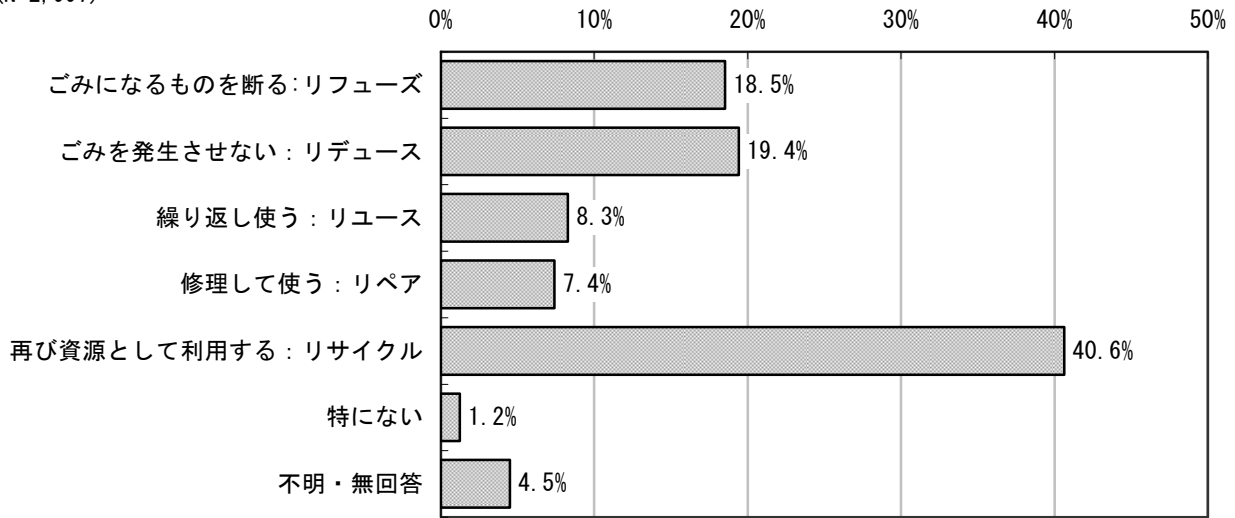
[複数回答]



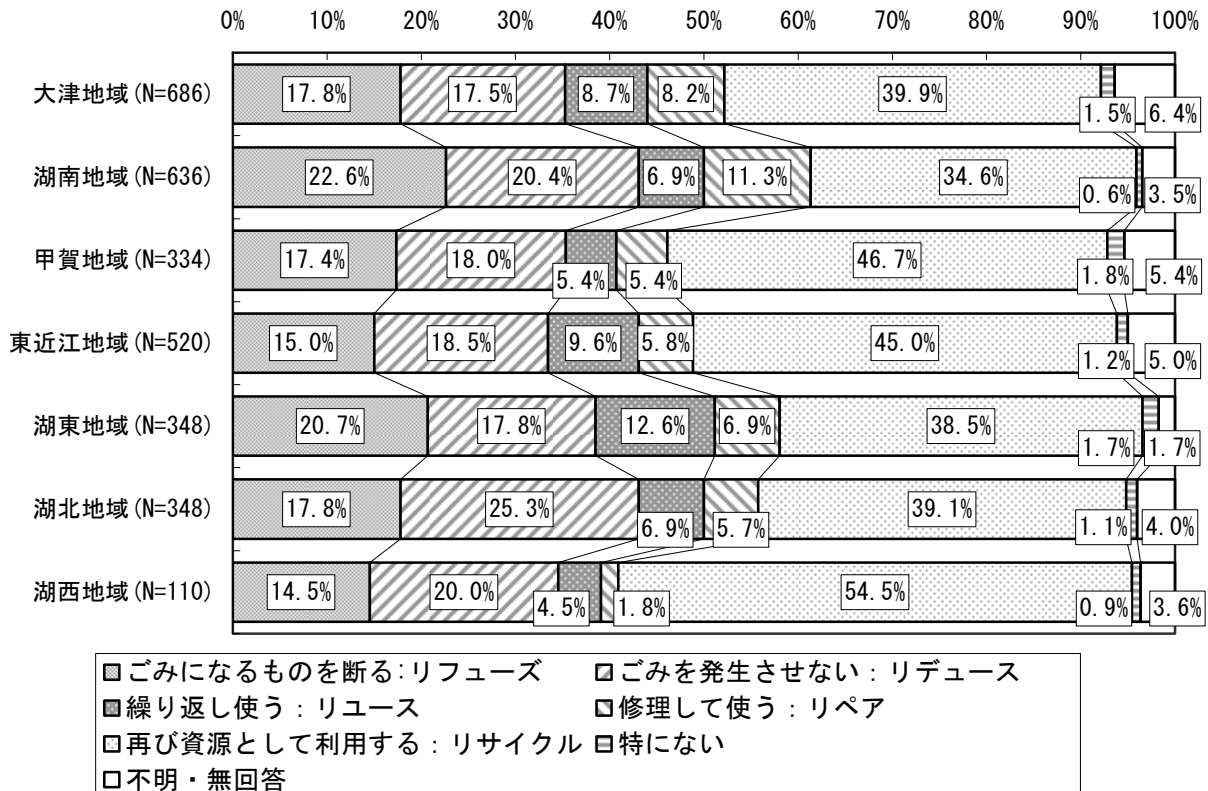
(3) ごみを少なくするために大切だと思うこと

問 21 あなたが、ごみを少なくするために最も大切だと思うことは何ですか。(〇は1つだけ)

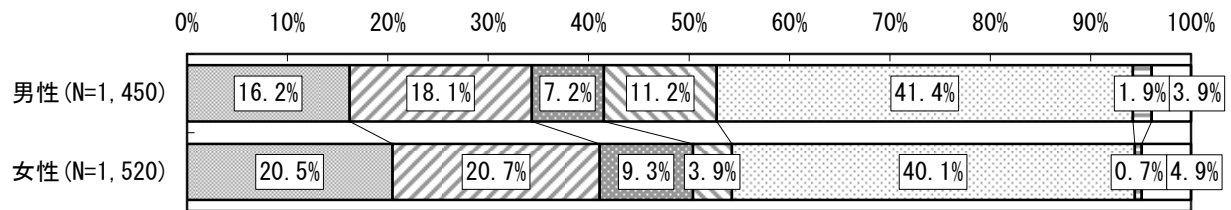
(N=2,997)



【地域別】



【性別】

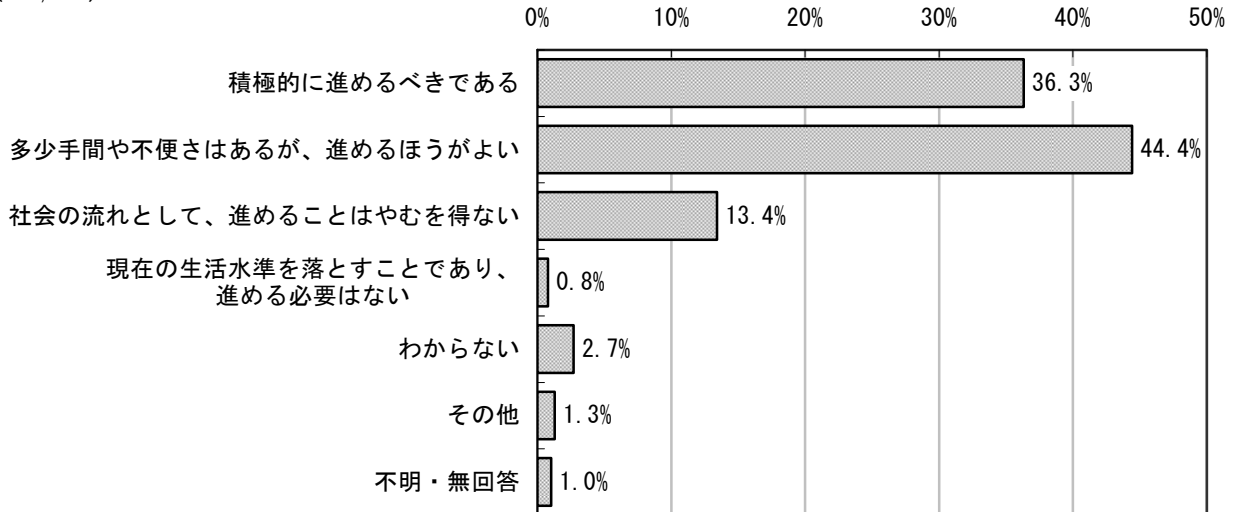


- ごみになるものを断る：リフューズ
- 繰り返し使う：リユース
- 再び資源として利用する：リサイクル
- 不明・無回答
- ごみを発生させない：リデュース
- 修理して使う：リペア
- 特になし

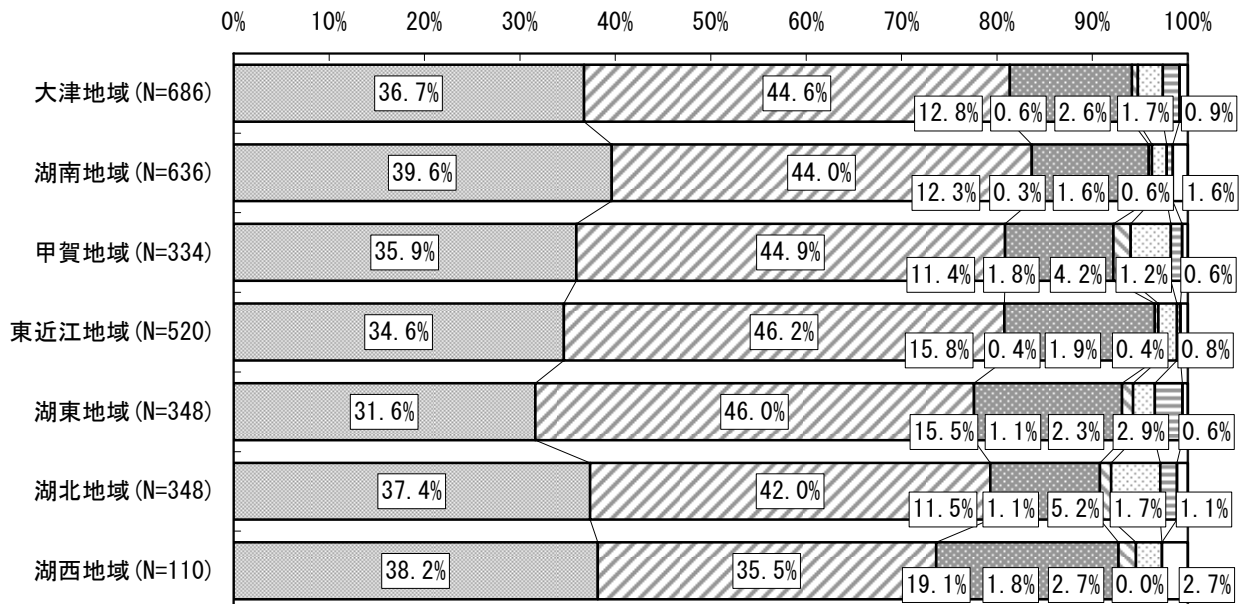
(4) 循環型社会づくりを進めることについての考え

問 22 これまでの大量に生産し、消費、廃棄する社会を見直し、廃棄物（ごみ）の排出を抑え、再使用や廃棄物を資源として活用する資源循環の取組を進めることで、環境への負荷が少ない社会（循環型社会）づくりを進めていくことについて、あなたの考えに最も近いものを選んでください。（○は1つだけ）

(N=2,997)

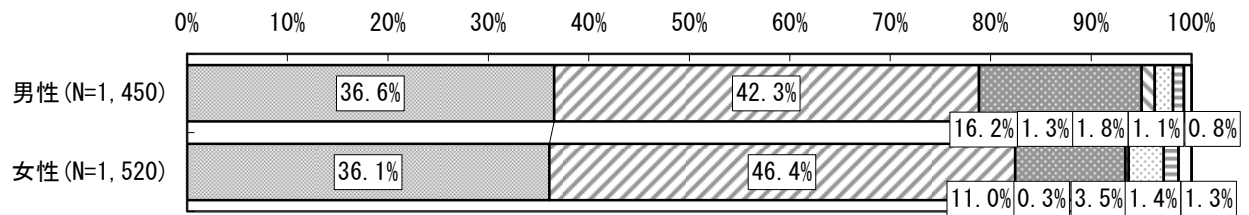


【地域別】



- 積極的に進めるべきである
- 多少手間や不便さはあるが、進めるほうがよい
- 社会の流れとして、進めることはやむを得ない
- 現在の生活水準を落とすことであり、進める必要はない
- わからない
- その他
- 不明・無回答

【性別】



- 積極的に進めるべきである
- ▨ 多少手間や不便さはあるが、進めるほうがよい
- 社会の流れとして、進めることはやむを得ない
- 現在の生活水準を落とすことであり、進める必要はない
- わからない
- その他
- 不明・無回答

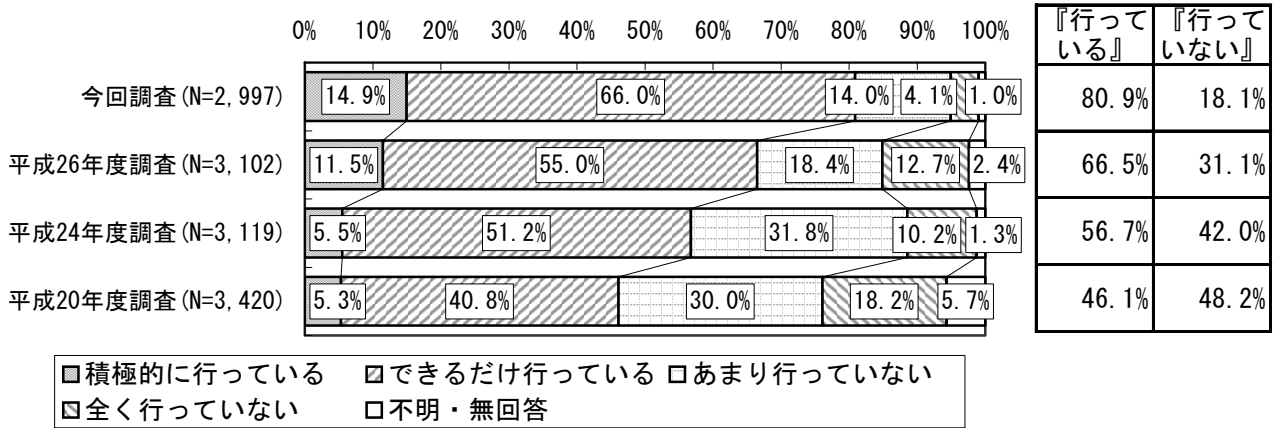
(5) 環境保全行動の実施状況

問 23 あなたは、日頃、環境保全行動※を行っていますか。(○は1つだけ)

※ 環境保全行動…琵琶湖の清掃やヨシ刈り体験への参加、レジ袋をもらわないなど、環境の保全のために行われる行動のこと

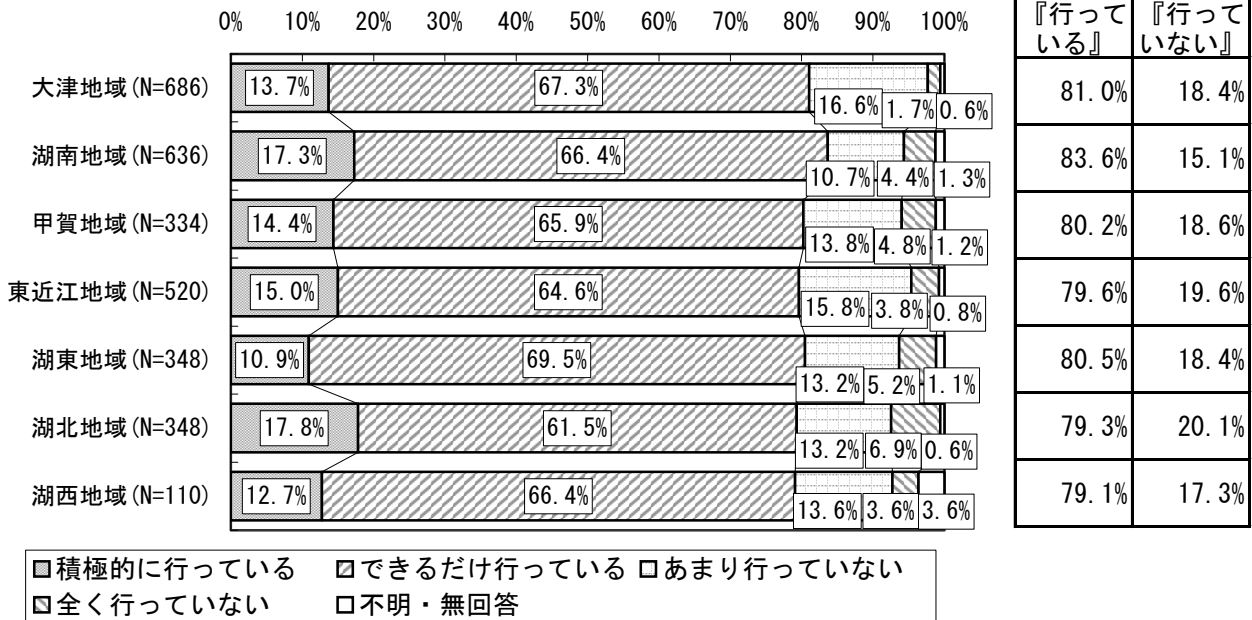
※『行っている』:「積極的に行っている」と「できるだけ行っている」の合計

※『行っていない』:「あまり行っていない」と「全く行っていない」の合計



※平成24年度調査とは選択肢の文言が一部異なる

【地域別】



【性別】

